

新たな時代のスペシャリスト養成!

福島県立医科大学 保健科学部

2021年4月 学部開設

理学療法学科、作業療法学科、診療放射線科学科、臨床検査学科
福島駅前より徒歩5分の場所に新学部を開設します!

詳しくはコチラ!



医大サイト
保健科学部の
紹介動画

卒業したら、どんな仕事に就けるのか、聞いてみました。

理学療法学科

理学療法士ってどんなお仕事?

理学療法士は、病気やけがで体をうまく動かせなくなった人に、運動療法や物理療法（温熱や電気などを使う）を行い、自立した日常生活を送れるように支援する、リハビリテーションの専門職です。歩行訓練だけではなく、呼吸器や心臓などのリハビリもあります。



理学療法士 小林 寛崇

2016年より福島県立医科大学附属病院
リハビリテーションセンターに勤務

リハビリを行うときは本人の顔色や体の具合などを細かく観察し、慎重にその日のプログラムを組みます。大切なことは、体の状態だけでなく、患者さんの生活環境、家族構成なども考えて信頼関係を築いていくことです。理学療法士は、単に体を動かせるようにするだけではなく、患者さんの気持ちを汲み、自宅に帰って元気に暮らすことを支援する奥深い仕事です。

作業療法学科

作業療法士ってどんなお仕事?

作業療法士は、病気やけがで入院した人が、自宅に戻って日常生活を送れるようにするリハビリテーションの専門職です。理学療法士が立つ、歩く、座るといった基本動作のリハビリを行うのに対し、作業療法士は、生活に関わる全ての活動(作業)のリハビリを行います。そのため、患者さんの普段の動きを考えることが大切です。

例えば、「台所に立って料理ができるようになりたい」という患者さんには、コンロの前に立って体のバランスを取りながら、フライパンを返すといった実践的な訓練を何度も繰り返します。患者さんの希望に少しでも近づき、それができるようになった顔を見るのは何にも代えがたい喜びを感じます。



作業療法士 芥川 奈央

2015年より福島県立医科大学附属病院
リハビリテーションセンターに勤務

診療放射線科学科

診療放射線技師ってどんなお仕事?

診療放射線技師は、X線撮影装置やCT装置、血管造影装置、MRI装置などを使って、医師が病気を診断するための最適な画像を撮影するのが仕事です。また、放射線治療装置を使ったがん治療にも加わります。

撮影は医師の指示に従って行いますが、どういう画像が必要なのかを自分で考え、撮影条件を整えます。例えば、肩や膝の関節の撮影の指示が来た時には、関節の中の骨と骨が重ならないように、つまり骨の隙間が写るように、関節に触りながら、撮影装置とパネルの調整を繰り返します。きれいに隙間が撮れた時には、小さな達成感を感じます。将来はPET 検査や放射線治療も担当できるよう、努力を続けていきます。



診療放射線技師 菊田 葉生

2017年より福島県立医科大学附属病院
放射線部に勤務

臨床検査学科

臨床検査技師ってどんなお仕事?

臨床検査技師は、患者さんの病気やケガの状態を知るために、医師の指示によってさまざまな検査を行う仕事で、検査結果は診断や治療に役立てられます。臨床検査には「検体検査」と「生理機能検査」があります。

検体検査は患者さんの体から採った血液、尿、便、組織（皮膚や臓器）などの「検体」の成分を分析したり、細菌がないかを調べる検査です。生理機能検査は、直接患者さんの体に触れて行う検査で、超音波検査、心電図検査、呼吸機能検査などがあります。

現在、私は腹部超音波検査を担当しています。肝臓、すい臓、胆のうを中心にお腹全体を検査し、医師が欲しいと思っている画像を的確に映し出せるよう、いろいろ工夫を重ねています。



臨床検査技師 岡崎 綾奈

2013年より福島県立医科大学附属病院に勤務

各学科で学べることは、こんなこと

運動機能回復のスペシャリスト

理学療法学科

本学科の特徴

本学では、福島県で唯一の特定機能病院である附属病院及び地域の医療・介護老人保健施設等との連携の他、医学部・看護学部と連携して教育する体制があります。また、現場での実習を早期から段階的に配置し、「臨床実践能力」を重視したカリキュラム構成になっております。このような環境の中で、保健・医療・福祉に関する理学療法の専門技術と科学の両面で理学療法の発展に貢献するリーダーとなれる人材を育成します。一緒に、人々の生活を運動機能面から支える人材となって福島の医療に貢献しましょう。



【目指せる資格】 理学療法士

【想定される主な就職先】 医療施設、介護老人保健施設、地域包括支援センター、通所・訪問リハビリテーション事業所、教育・研究施設、スポーツ分野、行政関係施設、医療福祉機器企業など

「作業」ができるよう支援するスペシャリスト

作業療法学科

本学科の特徴

子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした作業療法を教授する第一線の教員陣が揃っており、学生一人ひとりにきめ細かな教育を行います。また附属の大学病院を中心とした福島県内施設との連携体制により、授業で学んだ知識と技術を早期から臨床の場で実践できる、「臨床実践能力」を重視したカリキュラムを構成しています。最先端の機器、



医学部・看護学部との多職種連携教育や地域医療・災害医療の学びなど充実した教育体制と教育環境を整えており、作業療法士に必要な資質を涵養し、高度な知識と技術、豊かな人間性を備えた次世代を牽引する作業療法士のリーダーを育成します。

【目指せる資格】 作業療法士

【想定される主な就職先】 医療施設（一般病院、精神病院など）、介護老人保健施設、通所・訪問リハビリテーション事業所、児童福祉施設など

最先端機器で患者さんを救うスペシャリスト

診療放射線科学科

本学科の特徴

福島県内に初めて設置される診療放射線技師養成校です。少人数制（入学定員25名）を採用しており、全国から集まった経験豊富な教員による高度かつきめ細かい専門教育を受けることができます。

他学部との多職種連携や放射線災害医療、大学内に新たに設置される最新鋭の画像診断装置を用いた実験など幅広く学ぶことができます。最終学年では、附属病院をはじめとした県内の協力施設にて病院実習が可能です。



卒業後は学位（学士）と診療放射線技師の国家試験受験資格が得られます。高校生の皆さん、診療放射線技師を目指して私たちと一緒に学びませんか？

【目指せる資格】 診療放射線技師、放射線取扱主任者、作業環境測定士、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、エックス線作業主任者

【想定される主な就職先】 病院・検診施設、官公庁、医療関連企業など

診療に必要なデータの計測分析のスペシャリスト

臨床検査学科

本学科の特徴

臨床検査技師を養成するカリキュラムに加えて、細胞検査士養成コースを併設する予定です。細胞検査士は顕微鏡を使用して人体から採取された細胞の中からわずかな悪性の細胞を探し出す仕事をします。臨床検査技師として働いてから試験を受けて資格を得るのが一般的ですが、高度の技能を要求されるため試験は難しく合格率は高くありません。本学のコースを修了した学生は卒業前に資格取得のための受験が可能となり、合格すると臨床検査技師と細胞検査士の二つの資格が得られることとなります。また、これから益々需要が増える超音波検査やがんゲノム医療にも対応できる教育体制を整えました。卒業研究では医療の高度専門化に対応できる人材育成とその先のキャリア形成につながる研究体制を整備しました。



【目指せる資格】 臨床検査技師、細胞検査士(予定)、遺伝子分析科学認定士(初級)、中級・上級バイオ技術者、健康食品管理士(予定)

※食品衛生管理者や食品衛生監視員の資格も得られるよう準備中です。
【想定される主な就職先】 病院などの医療施設、検査センター、保健所・衛生研究所、医薬関連企業など

令和3年度入試情報

○募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員	
			一般選抜 前期日程	学校推薦型選抜
保健科学部	理学療法学科	40名	24名程度	16名程度
	作業療法学科	40名	24名程度	16名程度
	診療放射線科学科	25名	15名程度	10名程度
	臨床検査学科	40名	24名程度	16名程度

○出願期間

一般選抜：令和3年1月25日(月)～令和3年2月5日(金)
学校推薦型選抜：令和2年11月2日(月)～令和2年11月18日(水)

○選抜期日(個別学力検査等の実施日)

一般選抜：令和3年2月25日(木) 総合問題・個別学力検査
令和3年2月26日(金) 面接
学校推薦型選抜：令和2年12月5日(土) 総合問題
令和2年12月6日(日) 面接

○選抜方法等

一般選抜：入学者の選抜は、次により2段階に分けて行います。

① 第1段階選抜

入学志願者が募集人員の4倍を超えた場合、大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、募集人員の約4倍までを合格者とします。

② 第2段階選抜

第2段階選抜は、第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テスト、総合問題もしくは個別学力検査、及び面接の結果、並びに出願書類を総合して行います。

したがって、大学入学共通テスト、総合問題もしくは個別学力検査等の合計得点が合格者最低得点を上回っていても、不合格になる場合があります。

学校推薦型選抜：入学者の選抜は、総合問題（英文・科学的資料の読解を含む）、面接、出願書類の審査結果を総合的に評価して行います。

したがって、総合問題の得点が合格者最低得点を上回っていても、不合格になる場合があります。なお、大学入学共通テストは課しません。

Information



JR福島駅東口より 徒歩5分

電話・メール相談口

☎ 024-547-1963 FAX 024-547-1966

✉ shinzyun@fmu.ac.jp